ザンケイ ダブルシューター[™] SE

Qalcova[™]active

園芸用殺虫剤 天然物由来

- ・天然物由来の2成分を配合した殺虫剤。
- ・コナジラミ類の全ステージ(卵・幼虫・成虫)に優れた効果。
- ・薬剤感受性が低下したハダニ類、アザミウマ類にも有効。
- ・常温煙霧による散布が可能(きゅうり)。
 - ●「たまねぎ」「豆類(未成熟)」に使えるよう になりました!
- *詳細は裏面の適用表をご確認ください。





日本の主義のでは、1970年の日本の主

栽培形態と使える農薬

THE PLANT OF THE PARTY.								
日本農林規格附属書Bの農薬								
使用可								
使用可(成分数にカウントされない)								
農作物の被害が予想される場合に使用可								

※2 慣行栽培と比較して削減対象農薬の使用回数が50%以下







一. 5

■農林水産省登録:第24054号 ■有効成分:脂肪酸グリセリド・・・75.0% スピノサド・・・5.0% ■性状:淡黄色水和性粘稠懸濁液体 ■有効年限:4年 ■包装:500mℓ×20本

適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数 使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	脂肪酸グリセリドを含む 農薬の総使用回数	スピノサドを含む 農薬の総使用回数
鱗茎類 (にら、にら(花茎) を除く)※1	アザミウマ類 、シロイチモジヨトウ ネギハモグリバエ	1,000倍	100∼ 300ℓ/10a	収穫3日前 まで	3回以内	散布		3回以内
きゅうり	アザミウマ類	250ml/10a	10ℓ/10a			常温煙霧※2		2回以内
メロン	ハダニ類、コナジラミ類 、ハモグリバエ類 アザミウマ類、ウリノメイガ	1,000倍		収穫前日 まで	2回以内	散布		
ピーマン及び とうがらし類	ハダニ類、コナジラミ類、アザミウマ類 オオタバコガ							
ミニトマト	ハダニ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類 アザミウマ類、オオタバコガ、トマトキバガ							
なす	ハダニ類、コナジラミ類 、ハモグリバエ類 アザミウマ類、オオタバコガ							
すいか	ハダニ類、コナジラミ類 、アザミウマ類 オオタバコガ		100∼ 300ℓ/10a					
アスパラガス	ハダニ類、アザミウマ類							
いちご	ハダニ類、コナジラミ類、アザミウマ類							
豆類(未成熟)	アザミウマ類、ハモグリバエ類							3回以内
キャベツ ブロッコリー	アザミウマ類			収穫3日前 まで	3回以内			4回以内 (定植前は1回以内、 本圃では3回以内)
花き類・観葉植物	ハダニ類、ハモグリバエ類 、アザミウマ類			発生初期	2回以内	1		2回以内

- ※1:鱗茎類(にら、にら(花茎)を除く)では、「ねぎ」「たまねぎ」「にんにく」「らっきょう」「わけぎ」「あさつき」等に使えます。
- ※2:きゅうりに常温煙霧で使用する場合の適用場所は、温室、ガラス室、ビニールハウス等密閉できる場所。

試験成績

●タバココナジラミ成虫に対する防除効果試験



●試験場所:宮崎県総合農業試験場 ●作物名:トマト(ハウス桃太郎) ●対 象害虫:タバココナジラミ成虫(バイオタイプQ/自然発生) ●試験方法:7日 間隔で2回散布 ●処理日:1回目散布・2019年5月17日、2回目散布・5月24日 ●調査方法:各株の上・中・下部から1複葉(3複葉/株)について2回目散布前、 7日後、14日後、21日後、28日後に成虫数を調査(8株/区×2連制)

⚠ 使用上の注意事項

- ●使用直前に容器をよく振ってください。
- ●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- ●散布の際は、葉裏等に散布むらを生じないようにていねいに散布してください
- ●ハウスなどの常温煙霧用として使用する場合は下記の注意事項を 守ってください。
 - ①専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常 温煙霧装置の選定及び使用に当たっては病害虫防除所等関係機 関の指導を受けてください。
- ②作業はできるだけ夕刻に行い、作業終了後6時間以上密閉してください ③煙霧が直接植物体に当たると葉や果実に汚れを生じるおそれがあ るので、施設上部に噴頭部を設置するなど、煙霧が作物体に直接 当たらないよう措置をとってください。
- ●キャプタンを含む農薬またはアゾキシストロビンを含む農薬との同時施 用もしくは近接散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- ●花き類・観葉植物に使用する場合は、品種、栽培条件等により花弁 苞、葉に薬害を生じる場合があるので、事前に安全を確認して使用し

●ヒラズハナアザミウマに対する防除効果試験



- ●試験場所:岩手県農業研究センター ●作物名:ピーマン(京鈴)
- ●対象害虫:ヒラズハナアザミウマ ●試験方法:自然発生試験
- ●調査方法:薬剤散布直前、薬剤散布3日後、7日後、14日後の雌成 虫数を調査 ●処理日:2018年7月10日
- てください。特に結蕾期以降の散布は注意してください。
- ●蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の
- 桑に付着するおそれがある場所では使用しないでください。 ●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
- ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてくだ
- ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等で は使用をさけてください。
- ③関係機関(都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等)に対し て、周辺で養峰が行われているかを確認し、養峰が行われている 場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危 害防止に努めてください
- ●使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注 意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導 を受けることが望ましいです。
- ●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する 場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してか ら使用してください。なお病害虫防除所等関係機関の指導を受けるこ とが望ましいです。

●ネギアザミウマに対する防除効果試験



●試験場所:佐賀県農業試験研究センター ●作物名:アスパラガ ス(ウェルカム) ●対象害虫:ネギアザミウマ(中発生→多発生) ●試 験方法:自然発生試験 ●調査方法:処理前、処理3日後、6日後、14日 後に払落し法により成幼虫数を調査 ●処理日:2021年6月11日

⚠ 安全使用上の注意





- ■本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してく ださい。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落としてください。 ●使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用
- してください ●作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするととも
- に衣服を交換してください。 ●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- ●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- ●常温煙霧中はハウス内に入らないでください。また常温煙霧終了後 はハウスを開放し、十分に換気した後に入室してください。

⚠ 水産動植物に係る注意事項

●使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布 器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、 空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2024年12月現在の知見に基づき、作成されています。



<equation-block> サンケイ化学株式会社

東 京 本 社 〒110-0005 東京都台東区上野7-6-11 TEL 03-3845-7951 東京営業部 〒366-0032 埼玉県深谷市幡羅町1丁目13-1 TEL 048-551-2122 大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島2丁目14-6 TEL 06-6305-5871